

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
選択ダンススキル3											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	ARISA			実務経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
MINMI、YUKI(JUDY AND MARY)、perfume、m-flo、DREAMS COME TRUE、マキシマムザホルモン、福山雅治、平野綾、稲森寿世、少女時代、May' nなど様々なアーティストのバックダンサー、振付、CM、クラブイベント、ファッションショー、モデル、舞台出演などで活躍。映画『GOEMON』『モテキ』ダンサー出演。またNYへダンス留学経験や海外で活躍中のダンサー ‘Luam’ ‘TAKAHIRO UENO’ ‘RINO NAKASONE’ と共演する等幅広く活躍中。POLE DANCERとしても活動中。ラテンダンスカンパニー【JILL entertainment gallery】所属											
授業概要											
この授業ではJAZZにおける基礎リズム、ステップ、ストレッチや体幹強化を通年通してトレーニングします。その上で毎回テーマに沿った振付を行い表現力を養います。ラテンやファンク、ワールドミュージックなど幅広いジャンルの音楽をテーマとすることで、様々な表現方法を学びます。また、フロアやヒールを履いての表現も学び、ステージングの意識付けも行います。											
到達目標											
講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。											
授業方法											
JAZZ HIPHOPではストレッチ、体幹トレーニング、基礎リズム、ステップ、振付を毎回行います。ラテンやヒール、イスやハットを使った表現など必要に応じた応用レッスンを行います。											
成績評価方法											
試験・課題レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス/授業全体の流れの説明の実施										
第2回	ストレッチ、体幹トレーニング										
第3回	ストレッチ、体幹トレーニング、アイソレーション										
第4回	アイソレーション、基礎リズム・ステップ										
第5回	基礎リズム・ステップ、クロスフロア										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
選択ダンススキル3	
第6回	ストレッチ、アイソレーション、JAZZ HIPテクニク（リズム感）
第7回	基礎リズム、ムーブ 振付け
第8回	基礎リズム、ムーブ 固め
第9回	基礎リズム、ムーブ 発表
第10回	コンビネーション 振付け
第11回	コンビネーション 固め
第12回	コンビネーション 発表
第13回	フリースタイルによる表現の学習（JAZZを課題にする）
第14回	フリースタイルによる表現の習得（world musicを課題にする）
第15回	オーディション形式の習得レベルチェック